

フードテックヒル(仮称)の開発計画の概要

土地利用計画イメージ(今後詳細検討予定)



土地利用計画イメージ(今後詳細検討予定)



京都府への企業立地をサポートする優遇制度(補助金、税特例措置、融資)あり

フードテックヒル(仮称)の整備エリア

けいはんな学研都市の事業クラスターの一つである**南田辺・狛田地区の中央部**
南田辺西地区(面積 約60ha、現況 山林、地権者:京都府)に位置

至新名神(城陽JCT・IC)

至八幡市

大阪、京都、奈良に近接
当地区まで10~30km圏内

交通アクセスが良好
鉄道駅へ2.5km、新名神へ10km

安定した雇用の確保が可能
周辺には約25万人が居住

恵まれた研究、操業環境
自然豊かで高速・幹線道路に近い

地震・水害等の災害に強い
安定した洪積台地上に位置

薫り高い文化・豊かな歴史
京都・奈良の交流の要衝、歴史資源

大学、研究機関等との連携
理工系の大学、研究機関等が近接



精華下狛IC

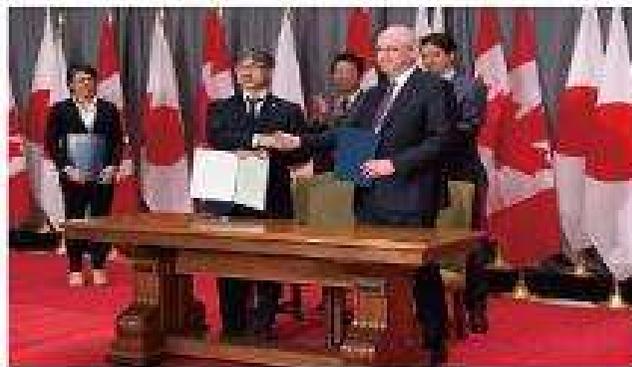
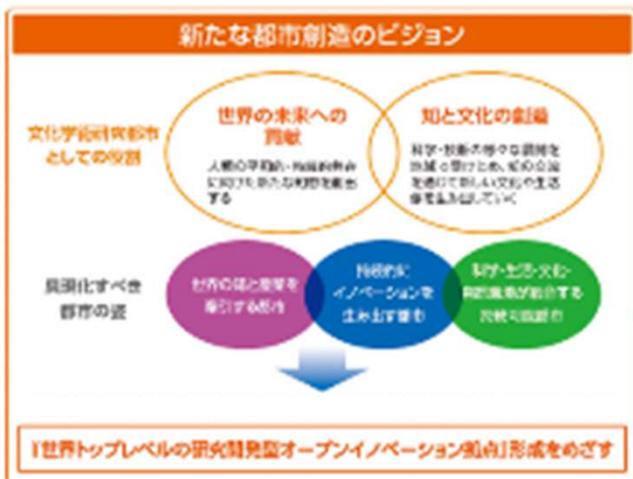
至奈良

至奈良市

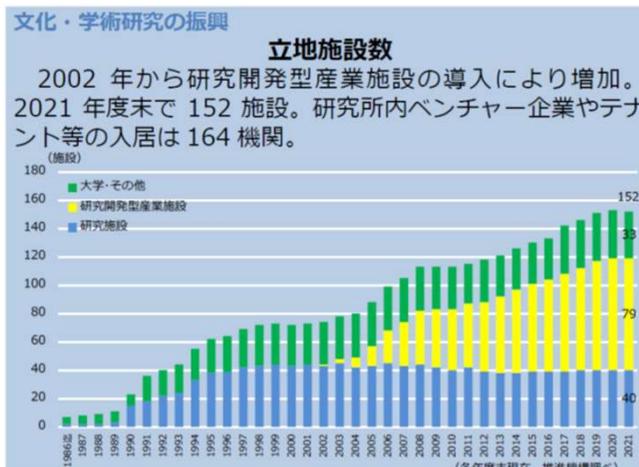
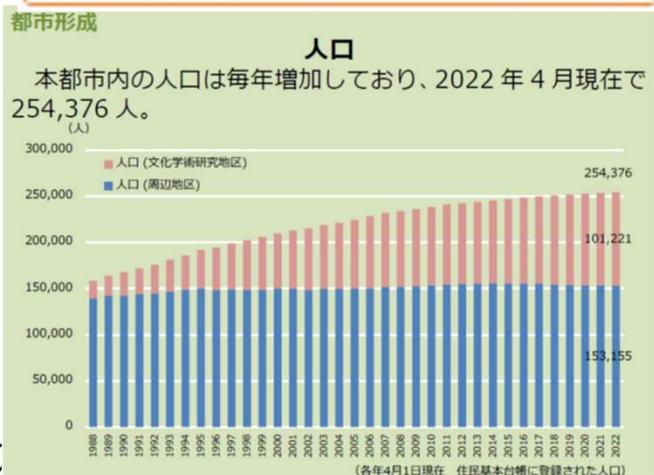
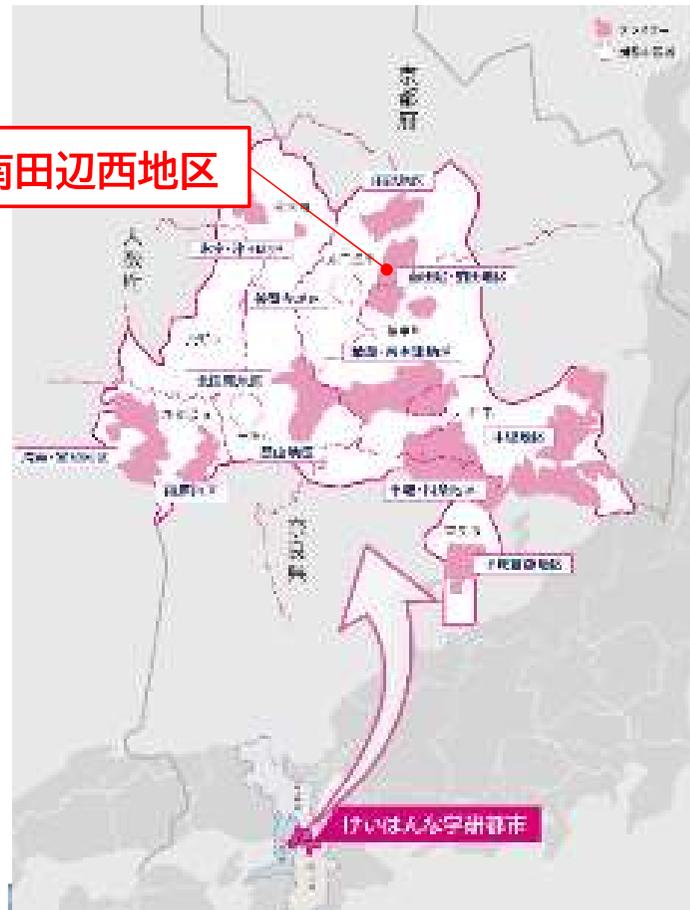
けいはんな学研都市とは

京都、大阪、奈良の三府県にまたがり、筑波研究学園都市と並び国家プロジェクトに位置付けされたサイエンスシティ

南田辺西地区



【けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会】



所要時間
約80分

JR大阪駅

JR環状線

JR京橋駅

JR学研都市線

JR三山木駅

奈良交通バス

所要時間
約50分

近鉄京都駅

近鉄京都線

近鉄三山木駅

奈良交通バス

奈良交通バス
同志社山手西